

# 快適で便利なまち。緑と太陽を求めて

## 都市基盤整備

多摩川左岸に広がる武蔵野台地の福生。この美しい自然環境を保全しながら、新しい時代に対応する都市機能の充実が求められます。総面積 10.41 km<sup>2</sup>はすべて都市計画区域。今後も長期的視野で、災害に強い快適な都市づくりをめざしていきます。



いちよう並木が美しい道路

### ●緑、ひろばのある快適な都市プランニング

快適で豊かな生活、それは都市機能と自然環境が効果的に配置されていることです。

市では早くから市街地の整備に取り組み、土地区画整理事業に力を入れてきま

した。すでに武蔵野台地区、多摩河原地区、加美平地区の区画整理事業が終了し、快適な住宅地区として飛躍的な発展をとげています。

一方、駅周辺一帯は急激な人口増加と

通勤、通学者の増大で、早急な対策が求められてきましたが、その一大事業として福生駅東口の土地区画整理事業が58年度完了の運びとなり、商店街を含めて市の表玄関口にふさわしくなりました。



区画整理完成まじかの福生東口駅前広場

### ●市民生活に直結した道路・交通体制

本市は“産業幹線”で知られる国道16号線をはじめ、立川～青梅線、杉並～五日市線などの主要都道が交差するほか、市道681路線、延長約12万4100mがあります。

道路の舗装率は96.7%と都内でもトップクラスを誇っていますが、モータリゼーションの拡大に伴い、狭隘や歩行者の安全上問題のある道路もあります。そのため道路の改良を中心とした生活環境施設の整備、新たな住民生活道路の確保にあたっています。

国道16号線は通過する大型車の激増で、周辺住民に与える影響も大きいと、国等に要請し、現在拡幅改良工事がすすんでいます。

市の主な交通機関は、国鉄青梅線、八高線、五日市線のほかにバス路線が市内ほぼ全域を網羅しています。東京駅からの直行乗入れ本数も増えるなど交通機関は年々充実してきていますが、今後はバス利用者がさらに増えていくことが予想されるため、駅前広場の整備に伴いバスターミナルの機能化に力を入れています。

### ●緑を守り育てるために

減少しつつある緑を守り回復するため、市では緑化事業に力を入れています。その一環として、出生記念樹の無料配布、草花の種子無料配布、緑の相談日（毎月1回、冬期を除く）、公共施設等への植樹、アメリカシロヒトリの防除等を行なっています。

また市内620区画（1区画10㎡）の農地を市で借り受け、市民の「家庭菜園」

として貸し出しています。

一方、市内の都市公園は22ヵ所、児童遊園は14ヵ所あります。1人当りの公園面積は4.15㎡で、東京23区の平均1.7㎡の倍ありますが、公園は今後市民憩いの場としてばかりでなく災害時の避難場所としても重要であるため、都市整備事業の重要施策として今後も整備拡充に当たっていきます。



朝のラッシュ風景(福生駅)



太陽と自然と出会うひろばは子どもたちの天国(多摩川緑地南公園)